

平成26年度 全国学力・学習状況調査 上富良野町の結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

- ・ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査対象学年 町内小学校第6学年、町内中学校第3学年 原則として全児童生徒

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・ 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上や学習の定着に向けた取組、習熟度別少人数指導、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況 など

4 調査の期日 平成26年4月22日（火）

5 調査を実施した学校・児童生徒数(全国悉皆調査) (児童生徒数は、回答を多く提出した教科)

	学校の実施率		児童数	生徒数
全 国(公立)	小学校 99.8%	中学校 99.3%	1,080,663	1,018,365
全 道(公立)	小学校 100%	中学校 99.7%	42,951	41,769
上富良野町	100%		103	104

II 調査の結果

※ 今回の調査で測定できるのは「学力の特定の一部」であり、子どもの学力の全てではないというおさえに立っています。

1 児童生徒の学力の状況について

(1) 小学校

科 目	全道平均	全国平均	全国に対する上富良野町の傾向
国語A(主として知識)	71.8	72.9	全国平均正答率よりやや上回る
国語B(主として活用)	52.9	55.5	全国平均正答率より下回る
算数A(主として知識)	75.8	78.1	全国平均正答率とほぼ同様
算数B(主として活用)	55.2	58.2	全国平均正答率よりやや下回る

(2) 中学校

科 目	全道平均	全国平均	全国に対する上富良野町の傾向
国語A(主として知識)	79.4	79.4	全国平均正答率とほぼ同様
国語B(主として活用)	49.9	51.0	全国平均正答率よりやや上回る
数学A(主として知識)	66.0	67.4	全国平均正答率よりやや下回る
数学B(主として活用)	59.4	59.8	全国平均正答率とほぼ同様

小学校は、国語A・算数Aともに全国平均正答率より同等か上回っているが、算数Bは、全道平均正答率と同様である。国語Bは、全国平均正答率より大きく下回った。

中学校は、国語A・国語B・数学Bで全国平均正答率より同等か上回っている。数学Aについては、全国平均正答率より下回ったが全道平均正答率より上回っている。

2 児童生徒質問紙の傾向について

※ 共通質問74項目のうち、特徴のあるものを抜粋しています。

※ 網掛けは、全国平均より高い結果を表しています。

※ 数字は%、「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な割合の合計です。

(1) 家庭での生活・学習について

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
朝食を毎日食べている	97.1	96.0	96.2	93.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	78.6	79.2	79.8	74.1
毎日、同じくらいの時刻に起きている	83.5	90.9	94.2	92.1
家の人に学校の出来事を話す	70.9	80.4	76.9	72.6
家で、計画を立てて勉強している	51.5	61.0	38.5	46.6
家で、宿題をしている	98.0	96.5	94.3	88.2
家で、予習・復習をしている	44.7	49.0	37.1	42.3

○平日、1日当たりどれくらいの時間、TVやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか？

	4時間以上	4時間～3時間	3時間～2時間	2時間～1時間	1時間以下	全く見たり、聞いたりしない
小学校	13.6	23.3	28.3	23.3	11.7	0.0
全 国	19.8	18.2	23.3	24.5	12.6	1.6
中学校	22.1	11.5	25.0	26.0	15.4	0.0
全 国	15.7	15.8	25.0	27.3	14.5	1.7

○平日、1日当たりどれくらいの時間、TVゲーム(コンピュータ・携帯式ゲーム含む)をしますか？

	4時間以上	4時間～3時間	3時間～2時間	2時間～1時間	1時間以下	全くしない
小学校	9.7	15.5	19.4	25.2	25.2	4.9
全国	8.9	8.1	13.3	31.8	31.8	13.4
中学校	13.5	10.6	26.9	18.3	22.1	8.7
全国	11.0	9.3	15.1	21.0	8.7	16.8

○平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか？(学校の授業以外で学習塾や家庭教師に教わっている時間も含む)

	3時間以上	2時間～3時間	1時間～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない
小学校	4.9	8.7	31.1	39.8	14.6	1.0
全国	11.2	14.6	36.2	25.2	9.5	10.6
中学校	1.0	6.7	28.8	40.4	16.3	6.7
全国	6.7	24.7	32.8	17.3	9.0	5.7

家庭の生活については、小学校・中学校ともに基本的な生活が身に付いているが、小学校の起床時間に課題がある。家庭の学習については、小学校・中学校ともに宿題には取り組んでいるが、計画を立てて学習している児童生徒が全国平均と比べて少ない。

平日のテレビ・ビデオ等の視聴に費やす時間が多く、家庭学習の時間が全国平均よりも少ない。

(2) 学校での生活・学習について

質 問 事 項	小学校	全国	中学校	全国
学校に行くのは楽しい	70.9	86.6	76.9	82.4
学校のきまり(規則)を守っている	92.3	90.5	96.2	93.0
将来の夢や目標を持っている	83.5	86.7	71.1	71.4
国語の授業は好き	59.2	59.2	71.2	58.2
国語の授業の内容はよく分かる	79.6	80.1	81.8	72.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	83.5	87.4	92.3	82.5
算数・数学は好き	53.4	66.1	45.2	56.6
算数・数学の内容はよく分かる	75.7	79.6	66.3	71.5
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	88.4	89.0	71.1	71.4
学級みんなで協力して何かやり遂げ、うれしかったことがある	86.5	86.5	92.3	85.5

学校の生活・学習について、小学校・中学校とも、「学校のきまり(規則)を守る」が全国平均より高い。

算数・数学と比べて、国語の授業が「好き・授業の内容はよく分かる」が、小学校・中学校ともに良い傾向である。

(3) 関心・意欲・態度等について

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
最後までやり遂げうれしかったことがある	98.0	94.4	93.3	93.9
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	68.0	75.1	73.0	68.0
自分には、よいところがあると思う	75.7	76.1	71.1	67.1
新聞を読んでいる(ほぼ毎日と週1~3回)	20.4	27.1	26.9	21.1
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある(テレビやニュースなど)	44.6	62.9	59.6	55.6
人の気持ちがわかる人間になりたい	91.3	94.4	92.3	97.1
いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	95.2	95.4	92.3	93.4
人の役に立つ人になりたい	95.2	96.4	96.2	94.0
友達との約束を守っていますか	98.0	97.3	96.2	93.0

小学校は、「最後までやり遂げてうれしかった」「友達との約束を守っている」が全国平均より高いが、その他は低い傾向が見られる。また、「いじめはよくない」「自分にはよいところがある」が全国と同様の傾向である。

中学校は、「最後までやり遂げてうれしかった」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人になりたい」「友達との約束を守っている」が全国平均と同様か、高い傾向が見られる。また、「新聞を読む」「地域や社会で起こっている問題等に関心がある」が全国平均より高い傾向である。

(4) 読書について

質 問 事 項	小学校	全 国	中学校	全 国
読書は好きだ	63.1	80.1	81.7	69.4

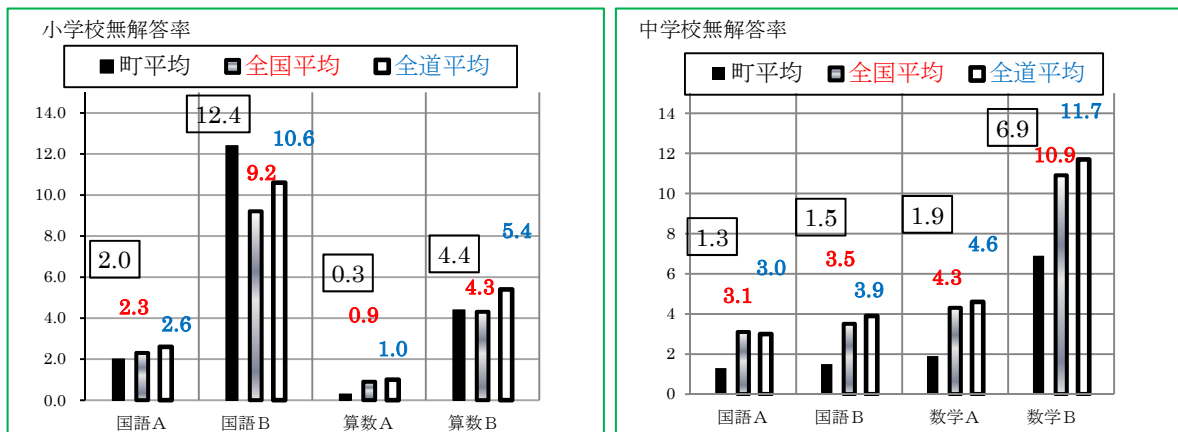
○平日、家や図書館で、1日当たりどれくらいの時間読書しますか？

	2時間以上	1時間~2時間	30分~1時間	10分~30分	10分以下	全くしない
小学校	5.8	6.8	13.6	23.3	20.4	30.1
全 国	7.6	10.4	20.2	26.5	15.9	19.3
中学校	10.6	6.7	13.5	30.8	8.7	29.8
全 国	6.7	8.9	15.8	21.6	12.6	34.3

小学校は、読書が「好き」が全国平均より17ポイント低く、読書時間も少ない傾向が見られる。

中学校は、読書が「好き」が全国平均より12.3ポイント高く、読書時間も多い傾向が見られる。

(5) 児童生徒の無解答率の状況について



【小学校、中学校共通】

無解答率について、小学校は、国語A・算数A・算数Bで無解答率が全国平均よりも低いか、同様に良い傾向が見られるが、国語Bは、無解答率が全道平均よりも高かった。中学校は、全教科で無解答率が全国平均より2ポイント以上低い傾向である。

Ⅲ 成果・課題と今後の取組

1 学力と学校の指導等において

小学校では、成果として国語・算数ともに基礎・基本の定着や無解答率の低下が見られたが、発展的な学習の指導への課題がある。今後、国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業や書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業、そして、算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を積極的に取り入れた授業を工夫する。

中学校では、全教科の平均正答率は、全国平均正答率を上回っている傾向が継続しており、今までの取り組みの成果が見られる。しかし、数学Aが全国平均正答率より低かったため、基礎・基本の確実な定着を図る取組が課題である。今後、振り返る学習や自分で計画を立てた家庭学習の取り組みを進める。

2 小学校・中学校ともに、TV・ビデオ等の視聴や、TVゲーム等に費やす時間が多く、家庭での学習時間が少ない傾向が継続している。今後、教育委員会で作成している「家庭学習のすすめ」の活用や各学校の「家庭学習の手引き」、「家庭学習の生活リズム」の指導を家庭と連携した取り組みを工夫する。

3 児童生徒質問紙では、小学校・中学校ともに良い傾向が見られているが、家庭や学校での生活・学習、読書などの一部で課題が見られた。今後、学校・家庭、そして行政が連携し、「学ぶ楽しさ」や「学校に行くのが楽しい」と言える取り組みを更に充実させる。